

## ハラスメント防止通信その3 (2023/10/16 配信)

大学院生のみなさん

副研究科長の吉田圭吾です。

授業・研究・実習など、頑張っておられることと思います。

ハラスメント防止通信も第三弾になりました。今日は厚生労働省が行ったハラスメント防止キャッチフレーズを紹介し、ハラスメントの実態を、ハラスメントを防止する取り組みとして明らかにしていきたいと思います。

### ①パワハラ部門

- ・ そのパワー 俺に向けずに 業績に
- ・ そのセリフ 鏡の自分に 言ってみて
- ・ その言葉 大事な人にも 言えますか
- ・ 指示・指導 思いやり添え パワハラゼロへ
- ・ パワハラを見てみぬふりも許すまい
- ・ パワハラで なくす信用 部下の支持
- ・ 「何が問題なの？」その自覚のなさこそが問題です
- ・ 指導だと 思っているのは あなただけ
- ・ あなたのパワハラ 周りはハラハラ
- ・ 気づいてる？それはパワハラ 愛じゃない

パワハラは、加害者としては、指導や指示だとしか思っていないので、悪気がありません。被害者は傷ついていて、茫然自失なのに、加害者は指示が入らないとさらに声を荒げます。「鏡の自分に言ってみて」は心に訴えますね。「何が問題なの？」自覚がない人には、周囲から指摘してもらわないと直りません。

### ②セクハラ部門

- ・ 「セーフだろ？」 言い訳するヤツほぼアウト！
- ・ セクハラって言われちゃうのかな？という前置きはセクハラの始まり
- ・ セクハラと気づいてないのが問題だ
- ・ あなたは「このくらい」でも、私はひどく傷ついているあなたの「セクハラ」に
- ・ セクハラに大小なくて代償あり
- ・ セクハラ被害にはない男女の差
- ・ それ、あなたの大切な人がしたらどう思いますか？
- ・ どこまで許されるか？思ったあなたはセクハラ予備軍
- ・ セクハラも男女の壁もない職場
- ・ 嫌そうじゃないから？いや、そうじゃないから！

セクハラに加害者はとにかく自覚がありません。セクハラなんて問題にするから雑談や普通の会話もできないと不満に思っています。そこに被害者の立場の心の傷や苦しみ、不安に耳を傾げる態度は皆無です。

このようなキャッチフレーズで、ハラスメントが世の中に流布していくならとてもいいですね。

あなたがハラスメントを受けたと感じたら、その行為が不快であること、すぐに止めてもらいたいことを、相手に直接、はっきりと伝えてください。自分の態度をはっきり示すことが大切です。

意思表示をしても効果がないとか、意思表示をしたくても怖くてできないなどを感じる場合は相談窓口にご相談してください。

一人で悩まなくてもいいのです。

もしハラスメント相談員のどの人も知らないので、勇気を出して連絡できないでいる場合は、身近の話しやすい先生にまず話を聞いてもらい、信頼できるハラスメント相談員につないでもらいましょう。

あなたが受けた被害を正確に伝えるためには記録が最も良い方法です。被害を受けた日時、場所、状況について詳細に書き留めてください。誰か目撃者がいたらそれも書き留めておいてください。

ハラスメントにあたるか否かは、他の人の意図ではなく、あなた自身がどう感じたか、あなた自身の判断が大切です。「これはなかったことにする」ということにはしないでください。我慢したり、放置したりしては、ハラスメントはなくならないのです。

ぜひ、ハラスメントのない環境で、充実した研究生活を送っていただきたいと思っています。

人間発達環境学研究科ハラスメント相談員

研究科長 近藤 徳彦 ([kondo@kobe-u.ac.jp](mailto:kondo@kobe-u.ac.jp))

評議員・副研究科長 吉田 圭吾 ([kyoshida@kobe-u.ac.jp](mailto:kyoshida@kobe-u.ac.jp))

副研究科長 佐藤 春実 ([hsato@tiger.kobe-u.ac.jp](mailto:hsato@tiger.kobe-u.ac.jp))

学生委員協議会委員 江原靖人 ([ebara@kobe-u.ac.jp](mailto:ebara@kobe-u.ac.jp))

発達コミュニティ学科准教授 稲原 美苗 ([minaeinahara@penguin.kobe-u.ac.jp](mailto:minaeinahara@penguin.kobe-u.ac.jp))

環境共生学科准教授 村山 留美子 ([murayama@person.kobe-u.ac.jp](mailto:murayama@person.kobe-u.ac.jp))

子ども教育学科准教授 川地 亜弥子 ([kawaji@port.kobe-u.ac.jp](mailto:kawaji@port.kobe-u.ac.jp))

鶴甲第2キャンパス事務課教務学生係長 笹野 哲生

IC&HC センター保健管理部門「心の健康相談部門」カウンセラー

(こちらはIC&HC センター保健管理部門「心の健康相談部門」の予約が必要です。)

受付電話番号 078-803-5245

吉田 圭吾 ([kyoshida@kobe-u.ac.jp](mailto:kyoshida@kobe-u.ac.jp))

相澤 直樹 ([aizawa@kobe-u.ac.jp](mailto:aizawa@kobe-u.ac.jp))

「ハラスメント防止に向けて」パンフレット

<https://www.kobe->

[u.ac.jp/documents/info/project/harassment/20230403harassment.pdf](https://www.kobe-u.ac.jp/documents/info/project/harassment/20230403harassment.pdf)